

新たな有害ごみ分別-小山・小山ヶ丘地域リーフレット

New Hazardous Waste Separation-Oyama and Oyamagaoka Area Leaflet

小田 伊織¹⁾
指導教員 李 盛姫¹⁾

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

キーワード：有害ごみ、ごみ分別、アレサ、リーフレット

1. 研究背景・背景

日常生活でごみを指定の袋に入れずに捨てたり、ごみの捨てる曜日を間違えたりするなど、近隣住民のごみ分別マナーの悪さに悩んでいた時、町田市で有害ごみ分別の認識不足が原因で火災が発生したという記事を目にした。これらの現状からごみ分別に関する認知度を上げることで、ごみが原因で発生する被害や事故の再発防止につながるのではないかと考えた。そこで 2022 年 7 月に改正された有害ごみの分別方法とその他のごみに関する情報を新たな地域の情報として扱い、小山・小山ヶ丘地域（以下、アレサ商栄会）の住民に向けて分かりやすく発信することを研究目的とし、ツール提案を行う。

2. 調査内容

2-1. 火災の原因と改正された有害ごみの分別方法

町田市バイオエネルギーセンターの不燃ごみ処理場で 2022 年 6 月 11 日、デジタルカメラや電動工具などで使われる小型充電式電池（リチウムイオン電池等）やスプレーなどが原因と推測される火災が発生した。

【有害電池の分類】

- ・リサイクルマークのあるリチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池などの小型充電式電池
- ・ボタン型電池
- ・回収ができずに家庭での保管を余儀なくされていたリサイクルマークのない電池

- ・膨張などで破損している電池

上記の電池が燃やせないごみに混入すると、ごみ収集車の中やごみ処理施設の中で衝撃が加わり発火する恐れがある。これを受け市は、当初の予定よりひと月前倒し、7 月から小型充電式電池とボタン型電池を新たに有害ごみに指定し、回収することを決定した。新たに有害ごみに指定された電池は、月一回の乾電池回収日にビニールテープで金属部分を絶縁し、資源集積所に設置されている茶色のカゴへ廃棄することになった。

2-2. 地域貢献型情報誌「アレサ」の活用

今回、情報を発信する地域をアレサ商栄会に決定した。アレサ商栄会管轄地域を理解するため、「アレサ」（図 1）の過去 13 号分の情報を構造化し、冊子の内容を「住民が求めている情報」、「地域外の人にも興味を持ってもらえるような情報」、「地域が住民に知っておいて欲しい情報」の 3 つのテーマに分類し、情報の関係性を明確にした。



図 1 アレサ冊子のバックナンバー

3. 提案内容

3-1. 提案媒体の検討

アレサ商栄会が発行している過去のアレサ冊子は、読者に多くの情報量を伝えることができるという利点がある。一方で、情報が多く読者の目に止まりづらい欠点もある。そのため今回の提案媒体は薄くて手にとりやすい、かさばらない、一目で情報を確認できるなどの利点があるリーフレットで展開することに決定した。リーフレットの体裁は紙の対角線部分を押引きするだけで素早く簡単に展開や収納ができ、破れにくい折り方であるミウラ折りで作成する。また、このリーフレットはアレサ商栄会 43 店舗に置く運びとなった。

3-2. 提案する情報

限られた情報量を正確に伝えるために、新たに改正された有害ごみの分別方法を中心とし、その他のごみ分別情報も合わせて確認できるイラストでわかりやすい図解式で掲載する。また、リーフレットの片面はアレサ商栄会内にあるリサイクル集積所や、拠点回収場所（小型家電・携帯電話・インクカートリッジ・発泡トレイ等を回収する場所）、粗大ごみを持ち込む場所の位置情報が確認できるマップを作成する。



図3 リーフレット試作

4. 今後の展開

ごみの分別情報のイラスト図解がより分かりやすくなるようブラッシュアップする。また、マップに店舗情報（店舗の位置、店名、店の簡単な説明）を追加し、ミウラ折りリーフレットの表紙と裏表紙のデザインを行い、新たな試作を制作する。検証は、本校学園祭にてアンケート調査と、アレサ商栄会住民を対象に実施する。

参考文献

[1]町田版タウンニュース 2022年6月23日号
「小型充電式電池など7月より行政回収開始 ごみ処理施設の火災受け」
<https://www.townnews.co.jp/0304/2022/06/23/630383.html> (2022年6月27日閲覧)

[2]町田市 ホームページ「有害ごみ（電池、蛍光賞、ライター、水銀体温計）の出し方」
<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/gomi/gominowakekata/gomidashikata/2020616140512932.html> (2022年6月27日閲覧)

[3]年間誌 アレサ1号（2008年3月発行）～アレサ13号（2020年3月発行）
発行：アレサ商栄会、協力：町田商工会議所、編集：サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 アレサプロジェクトチーム



図2 リーフレット片面データ